



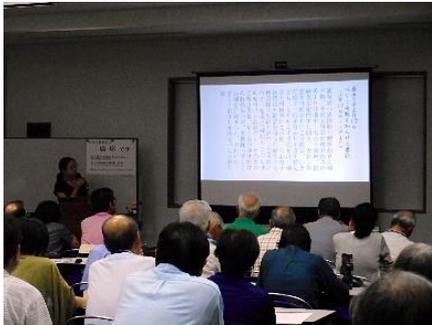
文化博物館だより

第545号

2019年10月10日

今回の博物館だよりは、特別企画展「城と明石の400年—明石藩の世界Ⅶ—」の関連イベントについて、博物館文化講座のようすについてお届けします。

特別企画展「城と明石の400年—明石藩の世界Ⅶ—」講演会を開催しました！（2019年9月28日）



講演会のようす

加藤 明恵氏（神戸大学大学院人文学研究科特命助教）は「明石藩日記から見る近世後期・幕末期の明石藩政」をテーマに、加納 亜由子学芸員は「“廃城令”の時代を生きた土族たち」をテーマに講演を行いました。

当選されたお客様で会場は満員。ペリー来航時やロシア艦隊ディアナ号来航時に明石藩がどのように対応したのかや、明石藩の土族が、廃城令の時代を通してど

のように城と関わってきたかを講演しました。参加されたお客様は大きくうなずきながらメモを取ったり、質問にも積極的に答えていらっしゃる、楽しんで参加されている様子でした。

連携事業 築城400周年記念明石城シンポジウム「明石城を探る」を開催しました！（2019年10月5日）

あかし市民広場にて明石葵会との連携事業 築城400周年記念明石城シンポジウム「明石城を探る」を開催しました。

城郭談話会の山上 雅弘氏と城郭研究家の本岡 勇一氏を講師に迎え、基調講演「城郭史から見た明石城」、「城絵図からよみがえった明石城」とパネルディスカッションを行いました。会場は約300人のお客様で埋めつく



基調講演のようす

され、みなさん熱心に参加されていました。明石市民のみなさんにとっても城好きのみなさんにとっても、明石城を深く知る良い機会になったのではないのでしょうか。また、明石葵会主催の武具甲冑の展示コーナーは、お子様から高齢のお客様までたくさんお越しになり、にぎわっていました。

<関連イベントのご案内>

◆ギャラリートーク ※当日自由参加、要観覧券

日時：10月12日(土)
11:00～、14:00～

講師：加藤 明恵氏（神戸大学大学院人文学研究科特命助教）
加納 亜由子（明石市文化振興課）

◆城と城下町の100年間—古写真展— ※会期中随時

明石城と城下町の古写真を展示します。江戸時代の名残りを残す昔の町並みにふれてみませんか

場所：当館ロビー

博物館文化講座「明石の浮世絵」を開催しました！（2019年10月3日）



西本学芸員による博物館文化講座「明石の浮世絵」を開催しました。明石を描いた浮世絵や、明石にあった浮世絵（黒田家資料より）を実際の資料のスライドを見ながらお話ししました。また「写真とミンゾク誌」や、「市制記念日講座」、「江戸時代講座」など、明石にゆかりのあるテーマや、文化博物館ならではの講座が10月から12月にかけてまだまだございます。参加ご希望の方は当館HPをご覧ください。館内に設置しているチラシをご覧ください。

明石を描いた浮世絵、歌川国貞「明石ノ浦景」を紹介

明石市制施行100周年記念

特別企画展「城と明石の400年—明石藩の世界Ⅶ—」

会期：2019年9月14日(土)～10月20日(日) 月曜休館(祝日は開館)

※10月13日は開館記念日のため観覧料無料

開館時間：9時30分～18時30分(入館は18時まで)

観覧料：大人500円、大高生400円、中学生以下無料

詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



おもしろい たのしい

来て、見て、発見！

ぶんぱくGO!!